

# 新<sup>た</sup>な<sup>な</sup>胃<sup>(に)</sup>病<sup>を</sup>変<sup>を</sup>考<sup>え</sup>る<sup>る</sup>会 2026

==== 完全WEB開催 ====

## 発表動画作成要項

### Mac Keynote版

次のステップで発表動画を作成してください。

発表スライドの  
作成

P.2

音声録音

P.3

動画ファイルへの  
変換・保存

P.6

# 発表スライドの作成

発表スライドにご自身の音声を録音し、音声付のスライドショー動画を作成してください。

## 1. 動画の保存について

- スライドのアスペクト比：4：3を推奨いたします。
- ファイル名には演者氏名を設定してください。
- ファイル形式：MP4
- ファイル容量：120MB以内（推奨）

## 2. 発表時間

7分でご作成ください。

## 3. その他注意事項

- 発表スライド言語は日本語を基本として作成してください。
- 文字サイズは18ポイント、できれば24ポイント以上を推奨します。

**緑**と**赤**の区別の難しい人がおられることを配慮し、この色の組み合わせは極力避けてください

# 機器準備・録音準備

## 1. パソコン・マイクの準備をお願いします。

## 2. マイクの性能テストを行ってください。

マイクがついているノートPCの場合は内臓マイクを、マイクのついていないノートPCやデスクトップPCを使用する場合は外付けのマイクをつないで音声を録音してください。

## 3. 録音の際は静かな場所で雑音が入らないようお願いします。

# 音声録音

スライドを送りながらご自身の発表の音声を録音してください。

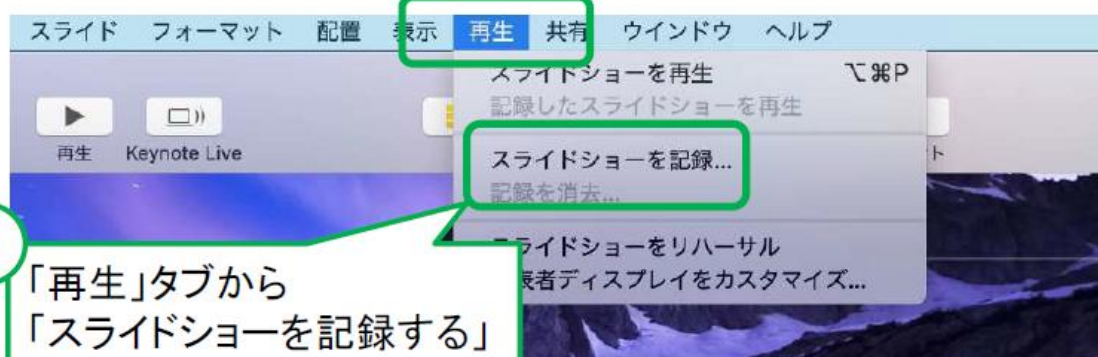
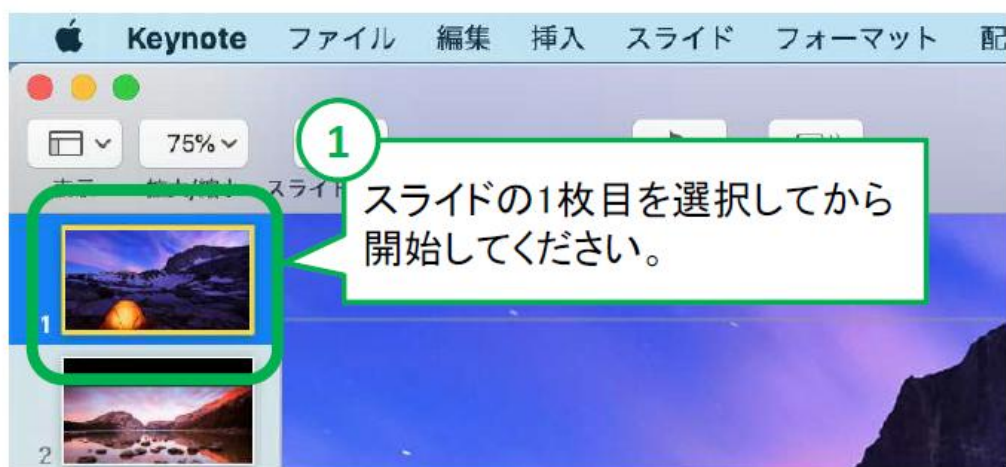
次ページからの説明画像では、ご利用のPowerPointのバージョンによってメニューの配置や表記、作業の流れに多少の違いがあります。

## [Mac] Keynote でのビデオ作成例


### <はじめに>ポインター機能の使用方法

Keynoteにはレーザーポインター機能はありません。通常のマウスポインター(矢印)を使用してください。スライドショー画面に切り替えると隠れているので、「C」を押してポインターを表示させてください。

### 手順1：録音の準備



## 手順2 : 録音を開始



発表動画作成要項 Mac Keynote版 現在: スライド1 / 3

3 マイクのミュートを解除してください

4 「記録」をクリックして録音開始

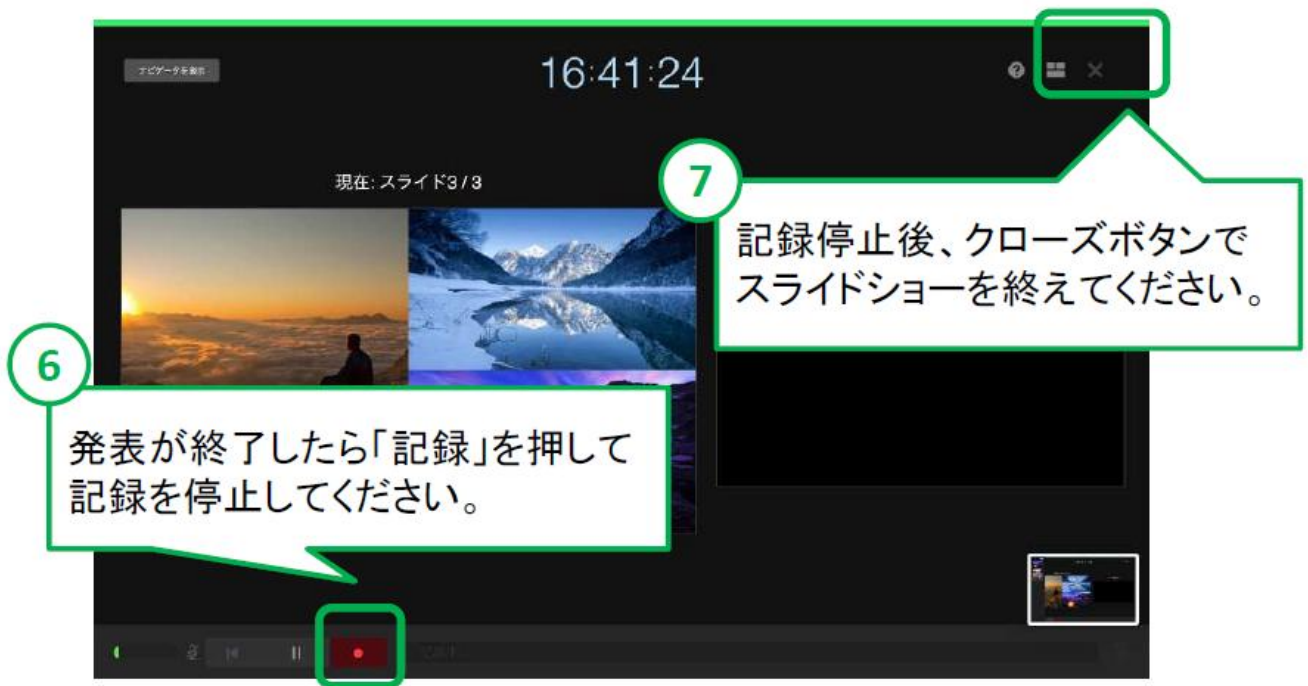
5 カウントダウン表示のあとに記録が始まります。スライドを進めながらコメントを吹き込んでください。この時に操作したとおりのタイミング(スライドが表示される時間)で記録されます。

3 2 1

### 【ご注意】

スライドを切り替えるタイミングでは、音声は録音されません。次のスライドに切り替わったのを確認してから話し始めてください。

## 手順3：録音の終了



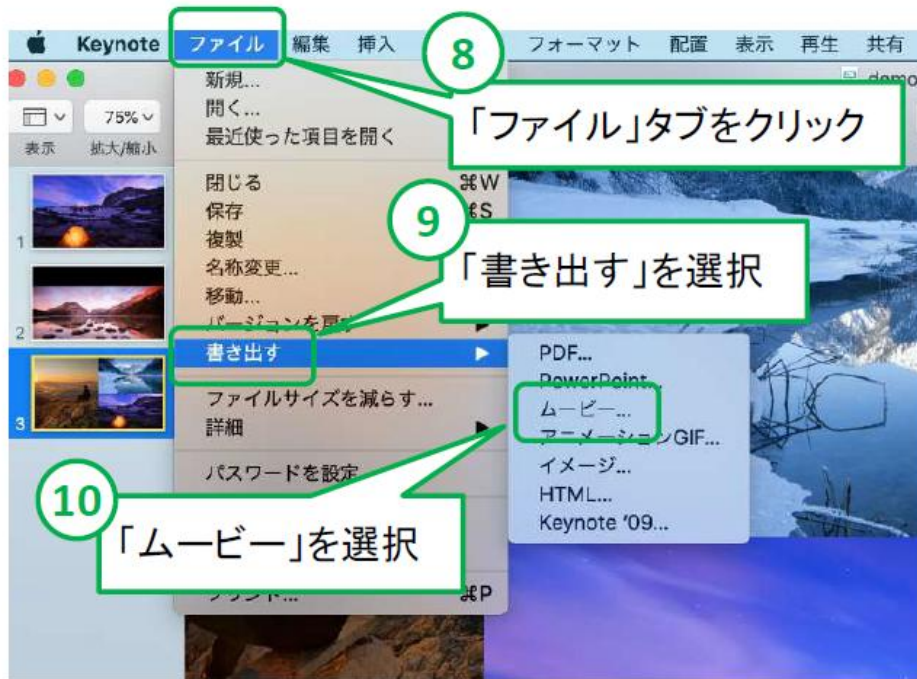
## 手順4：確認・修正

1. Keynoteを保存してください。
2. 再度ファイルを開き「再生」→「記録したスライドショーを再生」で確認して、音声やスライドのタイミングに問題がないか確認してください。
3. 撮り直しをしたい場合には、右上の「消去」をクリックして再度音声を録音してください。

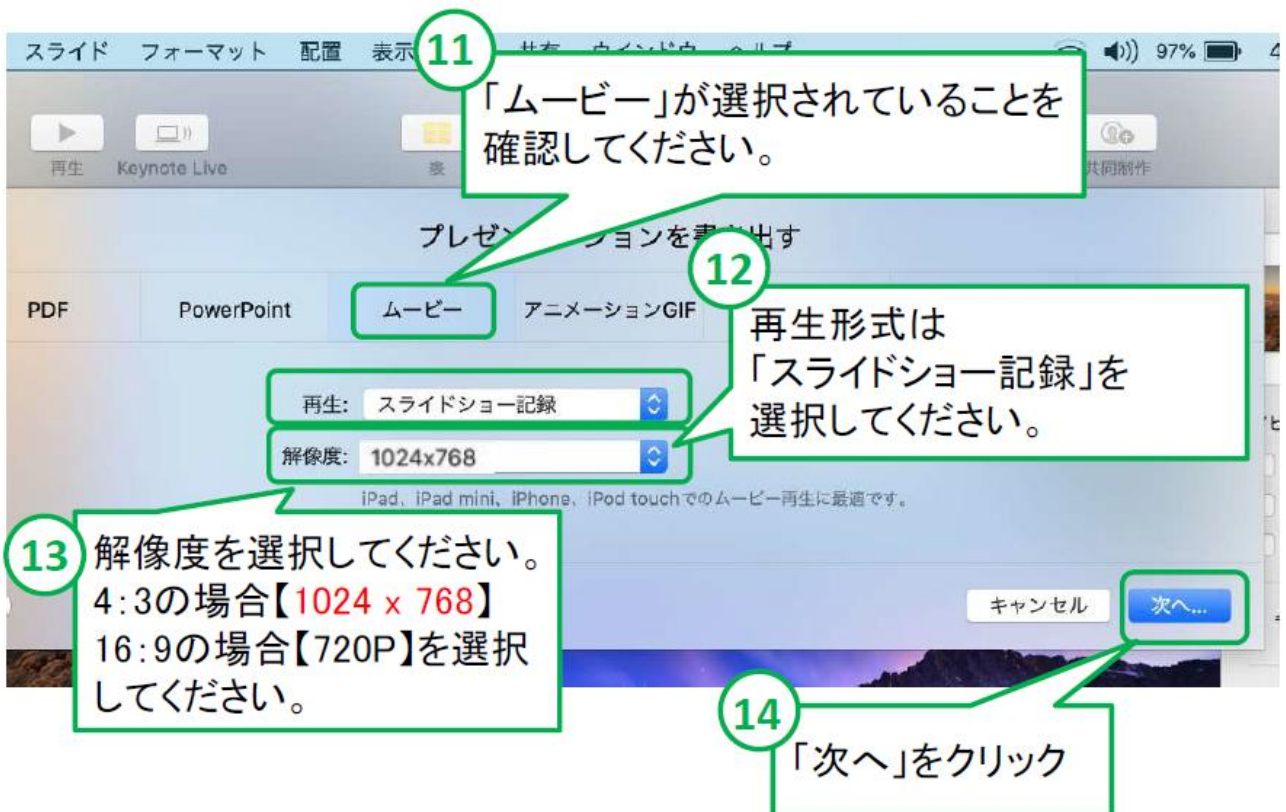


# 動画ファイルへの変換・保存

## 手順5：動画ファイルに変換してデータを保存



※バージョンによって表記が異なる場合があります。



## 手順6：動画ファイルをPCに保存



### 【お願いとご注意】

- できあがった動画ファイルは、可能であれば作成に使用したPC以外の端末でも再生テストを行ってください。
- 動画の容量によって、保存に時間を要する場合がありますのでご注意ください。